

皆様の寄付と活動に感謝して

「AWESOME! 皆さんののおかげで、この一年は本当に最高でした!」

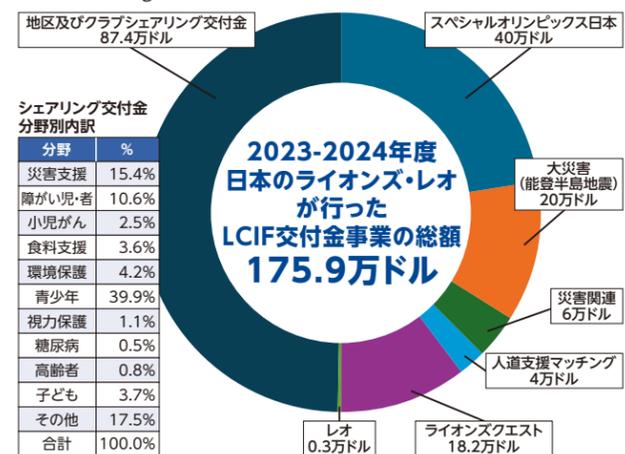
第106回ライオンズ・インターナショナル国際大会（オーストラリア・メルボルン）で当期寄付目標7,000万ドルを超える7,500万ドルの達成を会場に伝えたブライアン E. シーハン LCIF 理事長は、そう喜びを爆発させ、世界中の寄付者の支援を称えました。LCIF は全てのライオン、レオ、クラブ、地区、複合地区、そしてその他大勢の皆様からの温かい寄付に感謝いたします。全ての寄付が LCIF の寄付目標達成に貢献し、LCIF がこれからも交付金を通じてライオンズの奉仕を支援することを可能にしています。

2023-2024 年度も日本のライオンズの皆様には多大な寄付のご支援をいただきました。また、地区及びクラブシェアリング交付金をはじめとする各種交付金を使い、ライオンズの人道奉仕を進めていただきました。私たちは皆様の感動を与えるご支援に深く感謝しています。皆様の LCIF へのコミットメントが世界中の人々の生活を変えているのです。これからも共に世界に貢献していきましょう。

2023-2024 年度の日本の実績

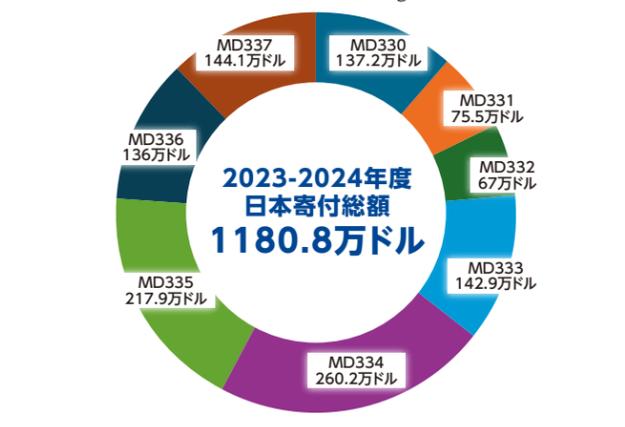
Doing - 交付金事業による奉仕

2023-2024 年度、日本のライオンズおよびレオは 201 件、総額 175 万 9,468 ドルの各種交付金事業を行い、日本のみならず世界の地域コミュニティの課題解決や人道支援に貢献しました。最も活用された地区及びクラブシェアリング交付金では、その多くが青少年支援、災害支援、障がい児・者支援に使われています。皆様の Doing に感謝いたします。



Giving - 寄付による奉仕

ライオンズの人道奉仕を支援する LCIF の交付金は皆様の寄付により成り立っています。2023-2024 年度、日本は最大寄付国として、世界寄付総額の 5 分の 1 に当たる 1,180 万 8,000 ドルを寄付してくださいました。皆様の Giving に感謝いたします。



ライオンズクラブ国際財団 2023-2024 年度報告書 ★予告ダイジェスト版★

日本のライオンズおよび寄付者の皆様へ

ライオンズクラブ国際財団 (LCIF) への揺るぎないご支援をありがとうございます。2023-2024 年度報告書では、皆様の支援のおかげで実現した世界各地での素晴らしい活動に光を当てて紹介しています。私はメルボルン大会で 7,500 万ドルの寄付達成をご報告しましたが、この素晴らしい成果は皆さんの思いやり、努力、リーダーシップなしにはあり得ませんでした。皆さんは、人道奉仕に取り組む多くの仲間たちに、この先も何十年と、LCIF が世界中の人々の暮らしをより良くする活動を継続するためには、寄付による支援が不可欠であることを模範となって示してくれました。今後も皆さんと力を合わせてインパクトをもたらすことを楽しみにしています。

今日を素晴らしい日にしましょう!

Brian E. Sheehan
ブライアン E. シーハン
2023-2024 年度 LCIF 理事長



LCIF に関する情報
オンライン寄付は
こちらから



LCIF.jp



Lions Clubs International
FOUNDATION

ライオンズとレオの奉仕に力を与えるグローバル財団

ライオンズ・インターナショナル オセアル調整事務局 LCIF 課

〒100-0011 東京都千代田区千代田 1-3-1 幸ビル 2 階
LCIFTokyo@lionsclubs.org / 050-1791-5820

LCIFのインパクト～世界で人々の生活を変える感動のストーリー

LCIF交付金事業の一つひとつに感動するストーリーがあります。ライオンズ唯一の国際財団として、LCIFは、ライオンズ・インターナショナルの140万人の会員が世界各地で行うライオンズの奉仕に力を与えます。奉仕に対するライオンズの熱い思いが、支援を求める何百万人もの人々の人生に明るい光をもたらす。それが1968年の財団設立以来ずっと私たちの使命を形づくってきました。LCIFは、人々の健康と福祉の改善、地域・コミュニティの強化、助けが必要な人々への支援に取り組むライオンズ及びパートナーを支援して世界平和と相互理解に貢献します。小児がん、糖尿病、災害支援、環境保護、人道支援、食料支援、視力保護、そして青少年支援でライオンズがクリエイティブに活動し、多様性を取り入れ、意味のある奉仕を推進することを支援します。ライオンズの奉仕のストーリーはLCIFの使命を語り、私たちの進むべき道を示してくれるものなのです。



インドでの飢えとの闘い

LCIFとMD322のライオンズは、地元企業ノリス・テクノロジーとパートナーシップを組み、西ベンガル州の都市シリグりで十分な食品を手に出せない人々に主食のロティ（パン）を配布しています。運搬車10台が地域を巡り、ロティと野菜カレー、ピクルスを届けます。本事業を通じて毎日約5,000食を提供し、インドの飢えと栄養不足の解消に取り組んでいます。



洗たくとシャワーでリフレッシュ

201-V3地区のライオンズは、オーストラリア・モーニントン半島のホームレスの人々のために、マッチング交付金1万2,580ドルを活用し、ユニットバス2台とランドリールームを完備したトレーラーを購入しました。地元の民間団体が運営する「サザンペンシュラ・ランドリー・シャワー」プログラムと一緒に、ホームレスの人々が心身共にリフレッシュできるサービスを提供しています。これまでに360人以上が利用しています。



ライオンズクエストで世界の若者に力を与える

今年は、かつて「クエスト・インターナショナル」という団体が行っていたクエストプログラムに、LCIFが最初の交付金を提供してから40年目の節目に当たります。ライオンズクエストでは最近、より効果的な授業を目指してカリキュラム、研修及び補助教材の全面改訂が行われました。新カリキュラムはよりダイナミックで、生徒を中心に据える一方で、授業時間を短くし、内容を整理しました。このように進化を続けながら、ライオンズクエストは子どもたちがいじめや薬物乱用を防ぐスキルを身に付け、自ら人生をひらく支援をしています。



小児がん治療中もずっとそばに

イタリア・トリノのレジナ・マルゲリータ小児病院では、小児がん患者に造血幹細胞移植治療を行っています。治療を受けた子どもは、移植後約1ヶ月間、無菌室に隔離されて過ごしますが、その間に家族や学校の先生たちとコミュニケーションをとるシステムが故障して使えないことが多発していました。その状況の改善に、108-IA3地区のライオンズは小児がん交付金2万1,659ドルを活用し、システムのアップグレードを支援しました。



キャンプ・スウィート・ライフの拡大

キャンプ・スウィート・ライフは、アメリカ・ミネソタ州南部で8～15歳の1型糖尿病の子どもたちが病気の管理を学ぶ宿泊型キャンプです。5～7歳の子どもには日帰りキャンプも提供しています。5M-2地区のライオンズは、このキャンプの拡充の重要性を認識し、LCIF交付金の支援を得ることを決めました。LCIFは医療用品、カウンセラー研修、事業費用として糖尿病交付金3万7,500ドルを提供し、キャンプでの経験がより良いものになるよう支援しています。記事はこちら



能登半島地震・水害被災者への支援

2024年1月1日、能登半島で発生した大地震は、死者228人（災害関連死を除く）、負傷者1,394人を出す深刻な被害（2025年1月28日・内閣府発表）をもたらし、多くの人々が何カ月にも渡り避難所暮らしを余儀なくされました。後に発生した水害への支援もあわせて、LCIFはこれまでに30万ドルの大災害交付金を提供し、LCIF能登半島地震・水害復興支援委員会を通じて、水、食料、衛生用品、使い捨てカイロ、段ボールベッド、土嚢袋などを軽トラックで里山の被災者に届け、仮設住宅に除雪機を整備するなどの緊急かつ日々の生活を支える支援を行ってきました。活動の中間報告はLCIF.jpに掲載しています。



能登復興支援
中間報告はこちら

史上最悪の洪水からの復旧

2024年4月、ブラジルでの集中豪雨は多くの死傷者を出す大洪水を発生させました。少なくとも150人が犠牲となり、50万人が緊急避難を余儀なくされる中、雨は5月に入っても降り続けました。自宅を失い、自炊もままならない被災世帯に、現地ライオンズは大災害交付金10万ドルを活用し、簡易コンロなどの炊事用具を提供しました。



ザンビアでの包括的視力保護サービスの提供

ライオンズ・エイド・ザンビア（ザンビアを救うためにライオンズが立ち上げた非営利団体）は、新たにパートナーとなった「盲人のためのラベル・ファンド」と共に、ザンビア西部州に大規模な包括的視力保護プロジェクトを開始します。プロジェクトでは、サービスの行き届かない農村地帯で積極的なスクリーニング検査と研修プログラムを提供し、これまでに2万5千人が検査を受け、眼科医療スタッフへの白内障手術の訓練も行われています。



環境にやさしく、インクルーシブな遊び場を作る

移動に困難を抱える住民のニーズを認識したカナダ5SKN地区のライオンズは、LCIFから提供されたマッチング交付金8万4,630ドルを活用し、障がいを持つ子どもたちと一緒に楽しめる遊び場を作りました。一般的な公園の舗装には様々な資材が用いられますが、この遊び場は、タイヤ1万本とナイキのシューズ1万3,000足をリサイクルしたゴムで完全に覆われ、環境保護とここで遊ぶ子どもたちの安全確保を見事に実現しています。記事はこちら



記事はこちら